

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2193100167		
法人名	社会福祉法人 錦江舎		
事業所名	グループホーム 夢眠かに (ひまわり)		
所在地	岐阜県可児市今渡1619-137		
自己評価作成日	令和4年12月6日	評価結果市町村受理日	令和5年3月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kairokensaku.mhlw.go.jp/21/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2193100167-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと
所在地	岐阜県各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル
訪問調査日	令和5年1月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

今現在は、コロナ禍により人混みの中の外出が出来ない為、施設職員で考え誕生日会、おやつレク、夏祭り、運動会、花見、畑にて野菜作り等できる範囲で企画を行い、利用者の方が生き生きと生活していただけるように支援しています。また新しい入居者様の歓迎会をしております。日常の生活リズムを大切にしながら四季を感じてもらえる工夫をしています。毎月ご家族様には、利用者様の元気な姿の写真と手紙を送らせてもらっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、同法人の地域密着型特別養護老人ホームと同じ敷地内にある。公道からは一番奥の南詰めに立地しており、静かで落ち着ける環境である。利用者は、共用スペースの窓越しに、庭で育てている野菜や咲く花を眺めながら、穏やかに過ごしている。また、公道に出ることなく、特養の建物周囲を安全に散歩することが出来る。特養との協力体制も整っており、日頃から、職員や利用者が看護職員に体調について相談することもでき、本人・家族の安心にも繋がっている。職員は、常に穏やかな対応を心がけ、利用者一人ひとりの思いに寄り添うケアに努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目: 9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目: 11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目: 30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目: 28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価票(ひまわり)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝申し送り時、会議時に理念、唱和、会議時唱和しています。又職員の見える所に理念が貼ってある	職員は法人理念に沿って、利用者一人ひとりの話を傾聴し、思いに寄り添ったケアに努めている。住み慣れた地域の中で、利用者のできることを活かし、今までの暮らしが継続出来るよう支援している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ予防対策としてあまり交流できていない	コロナ禍で、毎月のイベントが開催できず、地域のボランティアや幼稚園児などの来訪による交流は中断している。自治会とは日常的に相談ができる関係ができています。秋になると近所から柿が届き、毎年、利用者と一緒に干し柿を作っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方の相談の受け入れや、近隣の方、地域の方に理解を深めていただけるように努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ予防対策として、日々の生活状況取り組み等を書類にて報告し、意見や助言をいただきサービスの向上に努めている	現在、地域包括支援センター、市役所、自治会長、民生委員、特養の家族代表等へ、書面にて事業報告、ヒヤリハットや事故報告を行っている。意見を求める言葉を添えているが、届いてはいない。利用者家族からの運営に関する問い合わせには、適宜答えている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	可児市の担当者とは、日ごろから連絡をとり、相談、助言を受け関係を築いている。介護保険、認定調査の依頼をしております。	行政からは運営推進会議への参加を得ている。介護保険制度についての問い合わせや、認定調査、困難事例について相談などを行いながら協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修を行い、研修した内容を職員間で注意しあっている。また何気ない言葉で利用者様がきずつくこともあり、気持ちに寄り添う必要がある。3ヶ月に一回会議を開いています。	定期的に身体拘束防止委員会を開催している。研修を定期的に開催しており、身体拘束についての職員の意識も高まっている。声の大きさやトーン、言葉遣い等、スピーチロックにならないよう、職員同士で注意し合える関係が出来ている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	施設全体で勉強会を行い、毎月1人1枚ヒヤリハットを記入し、出勤時はヒヤリハットに目を通し情報を共有し、防止に努めています。		

岐阜県 グループホーム夢眠かに

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設全体での勉強会と回覧研修でも勉強を行い学ぶ機会をもっております。ご家族に聞かれてすぐ話せるように資料を用意しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、ご家族様にご不明な点はないか確認して納得していただき契約をしている。また、利用中に起こりうるリスクに関してなど説明し、ご家族の理解、同意を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	電話やメールで状況報告を行い意向を確認し介護計画や施設の体制に取り入れております。利用者様の要望に応じれるようにご家族の方にも協力を得てサービスの向上に反映させております。	担当者の交代制を取り入れており、毎月、写真と共に利用者の日常生活を伝えるメッセージを家族に送っている。家族からは、感謝の言葉や手紙が届いている。事業所への意見が寄せられることもあり、適宜、対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月会議を行い、職員からの意見や提案を聞き、業務に反映している。また会議以外でも話しをして意見が言いやすい環境を作っている。	職員は、日頃から、フロアのリーダーや管理者に意見や相談することができ、意見交換しやすい関係である。毎月のフロア合同会議でも話し合いながら、職員の各種提案を受け入れ、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が働きやすいようにアットホームな雰囲気笑顔で絶やさない職場作りに努めています。介護福祉士等の資格、また日々の努力や実績に応じて正職員への起用に配慮している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	1人1人の状況に応じて研修への参加を促したり、資格取得の為のサポートをしている。勉強会を行い参加できなかった職員にも回覧している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ予防対策として交流はできていません。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様に会話の中でさり気なく要望を伺い、利用者様の要望をご家族様にお伝えし、ご理解、ご協力を頂き利用者様の気持ちを大切にしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期アセスメントを行いご家族様の意向を伺い利用者様と話し合い要望等を取り入れるように努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本当にグループホームでの支援が必要か資料と面談に伺い確認し、職員と話し合いながら対応しております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として敬意を持ち利用者様の本意を大切にし残存能力に配慮した対応を心掛けております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者や家族が不安なく生活できるようスタッフが取りついで対応しております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ予防対策として外出控え。会話を楽しんでいただき積極的に取り組んでおります。	ユニット間で利用者同士が顔馴染みの関係となり、レクリエーションなどの活動を通して、交流している。家族との面会は1日1組の予約制とし、感染予防対策をした上で、ガラス越しで実施している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の方の個性や性格をスタッフが理解し、座る位置や対応に配慮し皆で楽しんで共同生活が送れるように支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所時には看護、介護サマリー等お渡しし、ホームでの生活が継続できるように働きかけております。退所されてから様子を伺いに行っております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者様の思いなど傾聴し把握し職員に共有しどのように対応していくか意見を出し合うようにしている。	日頃から、利用者の思いを丁寧に聞くことを大事にし、出来る限り要望に沿えるよう取り組んでいる。言葉が少ない人や意欲の低下が見られる場合は、表情を見ながら声掛けし、思いを推測しながら対応に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	シートを使用しスタッフが把握できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録や申し送りなどで把握するように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活の中で出来ること、出来ないことやそれぞれの利用者様の現状を知り話し合っている。	日頃から、ケアマネジャーもケアに関わっており、利用者の状況把握に努めている。職員も日々の気付きをケアマネと共有している。ケアプラン変更時には、電話で家族に説明し、相談をしながら、更新時には郵送にて文書を送付し、家族の同意を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子をケース記録に記入しているが利用者様の様子が読み取れる程細かくはされていない		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様のその時の体調や心の状態をみながら柔軟に対応できるように心がけている。		

岐阜県 グループホーム夢眠かに

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入所時に地域資源を確認しておりますが、なかなか多様な地域資源を活用させることが難しいです。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時に希望のかかりつけ医を確認し緊急時は希望の病院に搬送して頂けるように看護に伝え情報共有しております。医療行為が必要な場合は看護と相談し対応させて頂いております。	契約時に、協力医は月2回の往診があること、従前のかかりつけ医の場合は家族による受診支援が必要である事を説明している。緊急時や必要な受診については、家族の希望を聞いて対応している。隣接する特養の看護師とは、常時連携が取れる体制がある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎朝バイタル測定の結果を看護に伝え、必要時は看護職に再測定して頂いております。日々の気づきを大切に、変化が見られた時は直ぐに看護に報告・相談して主治医に連絡する体制を築いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時に看護・介護サマリーを医療機関に渡し情報共有し、入院中もご家族様に容態を伺ったり、早期退院できるように医療関係者・ご家族様と連携をとって支援しております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入院時にご家族の意向を確認しております。状況に応じ、その都度ご家族様の意向を確認し看護職に情報共有しております。医療行為が必要な場合看護職と相談し対応しております。	入居時に、重度化や終末期については、医療機関または隣接施設での対応になる事を説明している。家族の意向を確認し、主治医や特養の看護師と連携して対応している。現在、事業所での看取りに対応する計画はない。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時のマニュアルを作成しスタッフで情報共有しております。急変時の対応方法の研修を受けて習得しております。新しいスタッフにも実践力が身につくよう研修をしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ホーム内の非常口を全てスタッフが周知し、年に2回避難誘導を行っております。備蓄品を用意しローリングストック法を活用しています。	年2回の避難訓練を行っている。特養と共にまとめたBCPIに基づき、実践した結果から、より事業所に適したものにしている努力をしている。地域との災害協力体制はコロナ禍のため確立できていない。事業所にはAEDが設置されている。	地域との協力体制を築き始めたところで、コロナ禍に見舞われ、関係作りが中断している。今後も、運営推進会議で災害対策について話し合いながら、地域に情報を発信するなど、地域の協力が得られるような取り組みに期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	対応しております。丁寧な言葉かけを心掛けています。	年度初めに接遇研修を行い、常に利用者を尊重する姿勢でケアを行っている。浴室の出入り口には暖簾を掛け、脱衣所では衝立を用いて、プライバシーに配慮したケアを行っている。排泄ケアの際も小声で声掛けをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	尊重し自己決定できるように声掛けしております		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務を優先しないよう利用者様の希望に添う様に支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時に整髪、整容の声掛け見守り介助をしている。入浴時着替えは、利用者様と、一緒に選んでいます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	おかずを配食しているが時々手作りを取り入れている。盛り付け、食器拭きは一緒にやって頂けるよう心掛けています。	主食と汁物は事業所で調理し、おかずは配食サービスを利用している。庭で栽培した野菜を利用することもある。誕生会やクリスマスの際には、利用者の要望や季節感のある食事を提供している。おやつ作りは、利用者と一緒に作り、楽しみに繋げている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べやすくするために1人1人形態を考えた支援はできています。水分量の少ない方への支援を職員間で話し合いをし努力している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後毎回声掛けし口腔ケアをして頂いております。本人の力に応じたケアをしています。夜間は義歯お預かりし、ポリドントにて消毒しています。		

岐阜県 グループホーム夢眠かに

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者様、1人1人に合わせた支援を行っております。トイレにて排泄できるように声掛け誘導を行っております。	利用者の状態に合わせて、声掛けと誘導を行っている。布パンツの利用者もある。利用者一人ひとりに適した排泄用品について、職員間で話し合いながら、自立に向けたケアに活かしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排便リズムを把握し自然排便を促せるよう工夫しトイレ誘導を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	職員の都合上、曜日や時間帯の希望には対応できていない。入浴中は自分のペースでゆっくり入っていただけるよう介助している。	個浴による入浴支援を週2回行っている。浴槽のお湯は循環式で、主に午前中に浴室を暖めてから入浴支援を行っている。利用者の身体状況に応じて、職員2人で介助する時もある。浴槽に入れない場合はシャワー浴を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温調節やパジャマへの更衣など就寝環境を整えている。起床時間は個々に合わせて対応。日中の休憩もその時の状況によって対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	飲み込まれるまでしっかり見守りしています。新しい薬が処方された時は、しっかり記録する。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の生活リズムに合わせて休んで頂いたり、体操、好きなことをやって頂いたりしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	密をさけ紅葉狩りに車でいきました。極力天気の良い日にはスタッフと共に散歩にしています。	利用者は庭で花を摘んだり、職員と一緒に野菜作りをするなど、戸外でできることを行っている。感染予防対策として、遠出や外食などの支援は自粛しているが、少しずつ、ドライブや周辺での散歩を再開している。職員は、利用者が、その人らしい活動ができるよう、工夫しながら支援している。	今後も、感染予防対策をした上で、できる限り戸外での活動に積極的に取り組みながら、利用者の日々の暮らしぶりや活動等、家族に分かりやすく伝える工夫にも期待したい。

岐阜県 グループホーム夢眠かに

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は家族の方が理解してみえるから安心して下さい。お支払いは口座落としで心配ないとお話納得して頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯預かり電話の時本人様お渡ししています。枕元には手紙おいてみえます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感や季節感を取り入れる為、廊下に利用者様の作品コーナーを設け、俳句、塗り絵、折り紙等、スタッフと取り組んでいます。	南に面した共用スペースは、日当たりも良く、庭を眺めることもできる。食事やレクリエーションが出来るテーブル、ソファや本棚があり、ゆったり過ごせる空間である。L字型の居間には、安全面だけでなく、どこからでも職員が利用者の見守りが出来るよう、カーブミラーを設置するなど、工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々の空間は、確保されておりいつでもやすらぎのあるスペースである。またご近所のような付き合いもできるほどよい距離感である。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのある小物や写真、机等触れながら安心して暮らしていただく。プライバシーは守っている。	居室の前には、利用者が自分の部屋と分かるよう、名前や自分で作った飾りを貼るなど、工夫をしている。ベッドや寝具、整理棚、カーテンは事業所で設置している。利用者は家族の写真やぬいぐるみ、おもちゃの楽器等を持ち込む人もあり、その人らしく過ごすことが出来ている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の身体機能の状態に見合った活動や自立を促し、安全に過ごせるよう環境の整備はできている。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2193100167		
法人名	社会福祉法人 錦江舎		
事業所名	グループホーム 夢眠かに (れんげ)		
所在地	岐阜県可児市今渡1619-137		
自己評価作成日	令和4年12月6日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと
所在地	岐阜県各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル
訪問調査日	令和5年1月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価票(れんげ)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝申し送り時、会議時に理念、唱和、会議時唱和しています。又職員の見える所に理念が貼ってある		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ予防対策としてあまり交流できていない		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方の相談の受け入れや、近隣の方、地域の方に理解を深めていただけるように努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ予防対策として、日々の生活状況取り組み等を書類にて報告し、意見や助言をいただきサービスの向上に努めている		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	可児市の担当者とは、日ごろから連絡を取り、相談、助言を受け関係を築いている。介護認定。認定調査依頼しています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修を行い、研修した内容を職員間で注意しあっている。また何気ない言葉で利用者様がきずつくこともあり、気持ちに寄り添う必要がある。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設全体で勉強会を行い、毎月1人1枚ヒヤリハットを記入し、出勤時はヒヤリハットに目を通し情報を共有し、防止に努めています。		

岐阜県 グループホーム夢眠かに

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設全体での勉強会と回覧研修でも勉強を行い学ぶ機会をもっております。ご家族に聞かれてすぐ話せるように資料を用意しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、ご家族様にご不明な点はないか確認して納得していただき契約をしている。また、利用中に起こりうるリスクに関してなど説明し、ご家族の理解、同意を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	電話やメールで状況報告を行い意向を確認し介護計画や施設の体制に取り入れております。利用者様の要望に応じれるようにご家族の方にも協力を得てサービスの向上に反映させております。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月会議を行い、職員からの意見や提案を聞き、業務に反映している。また会議以外でも話しをして意見が言いやすい環境を作っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が働きやすいようにアットホームな雰囲気笑顔で絶やさな職場作りに努めています。介護福祉士等の資格、また日々の努力や実績に応じて正職員への起用に配慮している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	1人1人の状況に応じて研修への参加を促したり、資格取得の為のサポートをしている。勉強会を行い参加できなかった職員にも回覧している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ予防対策として交流はできていません。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様に会話の中でさり気なく要望を伺い、利用者様の要望をご家族様にお伝えし、ご理解、ご協力を頂き利用者様の気持ちを大切にしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期アセスメントを行いご家族様の意向を伺い利用者様と話し合い要望等を取り入れるように努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本当にグループホームでの支援が必要か資料と面談に伺い確認し、職員と話し合いながら対応しております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として敬意を持ち利用者様の本意を大切にし残存能力に配慮した対応を心掛けております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者と家族が不安なく生活できるようスタッフが取りついで対応しております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ予防対策として外出控え。会話を楽しんでいただき積極的に取り組んでおります。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の方の個性や性格をスタッフが理解し、座る位置や対応に配慮し皆で楽しんで共同生活が送れるように支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所時には看護、介護サマリー等お渡しし、ホームでの生活が継続できるように働きかけております。退所されてから様子を伺いに行っております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者様の思いなど傾聴し把握し職員に共有しどのように対応していくか意見を出し合うようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	シートを使用しスタッフが把握できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録や申し送りなどで把握するように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活の中で出来ること、出来ないことやそれぞれの利用者様の現状を知り話し合っている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子をケース記録に記入しているが利用者様の様子が読み取れる程細かくはされていない		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様のその時の体調や心の状態をみながら柔軟に対応できるように心がけている。		

岐阜県 グループホーム夢眠かに

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入所時に地域資源を確認しておりますが、なかなか多様な地域資源を活用させることが難しいです。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時に希望のかかりつけ医を確認し緊急時は希望の病院に搬送して頂けるように看護に伝え情報共有しております。医療行為が必要な場合は看護と相談し対応させて頂いております。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎朝バイタル測定の結果を看護に伝え、必要時は看護職に再測定して頂いております。日々の気づきを大切に、変化が見られた時は直ぐに看護に報告・相談して主治医に連絡する体制を築いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時に看護・介護サマリーを医療機関に渡し情報共有し、入院中もご家族様に容態を伺ったり、早期退院できるように医療関係者・ご家族様と連携をとって支援しております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入院時にご家族の意向を確認しております。状況に応じ、その都度ご家族様の意向を確認し看護職に情報共有しております。医療行為が必要な場合看護職と相談し対応しております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時のマニュアルを作成しスタッフで情報共有しております。急変時の対応方法の研修を受けて習得しております。新しいスタッフにも実践が身につくよう研修しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ホーム内の非常口を全てスタッフが周知し、年に2回避難誘導を行っております。備蓄品を用意しローリングストック法を活用しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	対応しております。丁寧な言葉かけを心掛けています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	尊重し自己決定できるように声掛けしております		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務を優先しないよう、利用者様の希望に添う様に支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時に整髪、整容の声掛け見守り介助をしている。入浴時着替えは、利用者様と選んでいます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	おかずを配食しているが時々手作りを取り入れている。盛り付け、食器拭きは一緒にやって頂けるよう心掛けています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べやすくするために1人1人形態を考えた支援はできています。水分量の少ない方への支援を職員間で話し合いをし努力している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後毎声掛け口腔ケアをして頂いております。本人の力に応じたケアをしています。夜間義歯お預かりしポリドントにて消毒しております。		

岐阜県 グループホーム夢眠かに

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者様、1人1人に合わせた支援を行っております。トイレにて排泄できるように声掛け誘導を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排便リズムを把握し自然排便を促せるよう工夫しトイレ誘導を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	職員の都合上、曜日や時間帯の希望には対応できていない。入浴中は自分のペースでゆっくり入っていただけるよう介助している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温調節やパジャマへの更衣など就寝環境を整えている。起床時間は個々に合わせて対応。日中の休憩もその時の状況によって対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	飲み込まれるまでしっかり見守りしています。新しい薬処方時は、しっかり記録する。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の生活リズムに合わせて休んで頂いたり、体操、好きなことをやって頂いたりしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	密をさけ紅葉狩りに車でいきました。極力天気の良い日にはスタッフと共に散歩にっています。		

岐阜県 グループホーム夢眠かに

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は家族の方が理解してみえるから安心して下さい。お支払いは口座落としで心配ないとお話納得して頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ハガキに返事を書いてご家族に送っています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感や季節感を取り入れる為、廊下に利用者様の作品コーナーを設け、俳句、塗り絵、折り紙等、スタッフと取り組んでいます。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々の空間は、確保されておりいつでもやすらぎのあるスペースである。またご近所のような付き合いもできるほどよい距離感である。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのある小物や写真、机等触れながら安心して暮らしていただく。プライバシーは守っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の身体機能の状態に見合った活動や自立を促し、安全に過ごせるよう環境の整備はできている。		